

平成28年度
環境活動レポート

(対象期間：平成28年1月～平成28年12月)

発行年月日：平成29年6月1日

株式会社 山下組

目 次

1	環境方針	P.2
2	事業概要&認証登録範囲	P.3
3	実施体制	P.4
4	環境目標	P.5
5	環境活動計画	P.6
6	環境目標の実績	P.7
7	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	P.9
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	P.10
9	代表者による全体評価と見直し結果	P.10

1 環境方針

<環境理念>

株式会社山下組は、全社員が環境問題を認識し、建設業の事業活動を通じて、社員一丸となって環境負荷の低減に取り組んで行くことを誓約します。

<行動指針>

1、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。

電気・LPG・ガソリン・軽油・灯油の消費量の削減を徹底

2、一般廃棄物・産業廃棄物の削減に努めます。

事務所の一般廃棄物・現場の産業廃棄物の排出量の削減を徹底

3、水の適正な利用と排水量の削減に努めます。

事務所における節水を徹底

4、環境に配慮した工事を推進します。

周辺環境に配慮した施工を提案

5、グリーン購入の推進に努めます。

再生資源・資材を積極的に購入

6、事業活動に関連する法規制は、確実に遵守します。

関係する法令の理解と遵守の徹底

7、地域の環境保全活動に積極的に参加します。

地域の清掃活動の積極的な参加

制定日：平成25年7月31日

株式会社 山下組

代表取締役社長 菅原 陽一

2 事業概要 & 認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 山下組
代表取締役社長 菅原 陽一

2 所在地

本社 岩手県花巻市上根子字石川原78番地1
TEL 0198-22-2111
FAX 0198-22-2110

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 菅原 健太
TEL・FAX 本社と同じ

4 事業活動の内容

土木工事・建築工事・とび土工工事・舗装工事

5 許可の内容

建設業許可 岩手県知事(特-24)第840号
産業廃棄物収集運搬業 第00302154769号(自社分のみの収集運搬)

6 事業規模

資本金 7,000万円

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	百万円	2173	2538	3257
従業員	人	42	40	35
事務所床面積	m ²	478.6	478.6	478.6
倉庫床面積	m ²	499.2	499.2	499.2

7 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

8 営業範囲

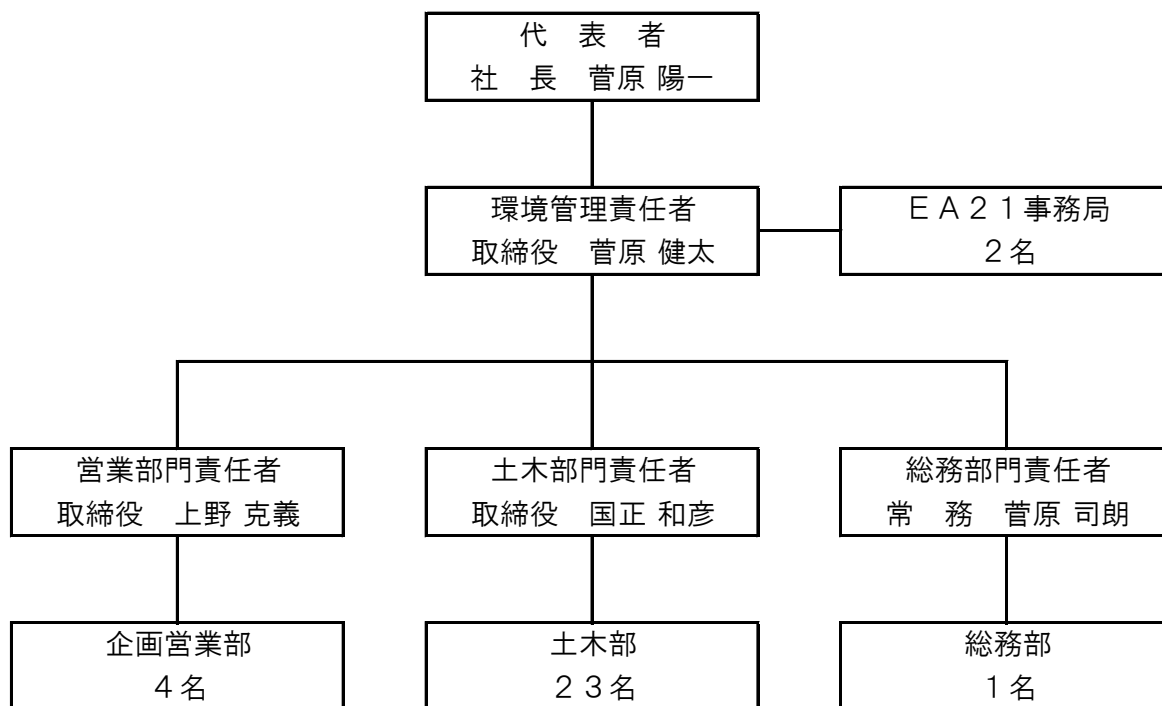
岩手県全域及び宮城県内の一部市町村

9 社歴

大正 9年 4月 1日 創業
昭和30年 4月 2日 建設業登録 資本金100万円
昭和37年 4月 2日 菅原万次郎 代表取締役社長に就任
昭和40年11月10日 資本金 400万円に増資
昭和47年12月27日 資本金 1,000万円に増資
昭和51年12月 1日 花巻市不動産に本社移転
昭和52年 5月17日 資本金 4,000万円に増資
昭和53年12月 5日 資本金 5,000万円に増資
昭和61年10月16日 資本金 7,000万円に増資
平成 5年 2月17日 菅原 一司 代表取締役社長に就任
平成16年 2月10日 菅原 一司 代表取締役会長に就任
菅原 陽一 代表取締役社長に就任
平成19年10月15日 花巻市上根子字石川原に本社移転

3 実施体制

1 組織図



2 役割・責任・権限表

役割	責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を任命し、方針(環境理念・行動指針)を決定する 取組みに必要な資源(人員・設備・費用)を用意する 全体の評価と見直しを行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者に代わってエコアクション21の構築・運用を行う 代表者に取組み結果を報告する 環境活動レポートを作成し、公開する
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐する 必要なデータの集計・分析を行う 各部門の取組み状況を把握し、環境管理責任者に報告する
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各業務で取組みを推進・実施し、社員の取組みをチェックする 必要な教育訓練を計画・実施する 環境管理責任者に報告し、是正・改善処置を行う
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 決められたことを守り、部門責任者の下で取組みを徹底して行う エコアクション21に関する教育訓練やセミナーを受講し、理解を深める 地域貢献活動に積極的に参加する

4 環境目標

1 環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

本社

項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	69,024	65,758	61,105	61,215
一般廃棄物排出量	kg	2,170	2,370	1,740	1,150

注：二酸化炭素排出に係る電力の排出係数は、H23年度の東北電力の実排出係数0.547kg-CO₂/kWhを用いて算定した
 総排水量の項目が無いのは、当社では地下水をポンプで汲み上げて利用しており、計測不可能な為

現場

項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	510,159	467,241	408,235	314,838
産業廃棄物排出量	t	125.39	11.75	55.59	40.98

注：産業廃棄物は焼却と最終処分した分の数量で、集計期間は4月～3月

2 環境目標の設定

当社では、平成24年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成24年度)比の削減(増加)率(%)

項目	単位	基準年	中期目標(内単年度目標)		
		平成24年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	基準値	2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
一般廃棄物排出量	kg		2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
産業廃棄物排出量	kg		2.5%削減	3.0%削減	3.5%削減
環境配慮工事の推進	件		2件	2件	2件
グリーン購入	購入率(%)		30%	30%	30%

注：総排水量の削減については、地下水をポンプで汲み上げているので電気量の削減により管理する

5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づいて二酸化炭素・廃棄物を削減し、環境目標を達成する為に社員一丸となって取り組んでいます。取組内容は表3のとおりです。

表3 環境活動計画の主な取組内容

項目		取組内容
二酸化炭素	電 気	昼休み時間は必ず消す
		使っていない部屋の照明は必ず消す
		退社する時はパソコンの電源を必ず切る(モニターも含めて)
		冷暖房の設定温度を守る(冷房：28℃ 暖房：25℃)
	ガソリン 軽 油	車両のアイドリングストップを徹底する
		急発進・急加速・空ぶかしをしない
		冷暖房を控えめに使う
		必要の無い荷物は積まない
	灯 油 L P G	冷暖房の使用条件を守る(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下)
		クールビズ・ウォームビズを徹底する
廃棄物	一般 廃棄物	書類の内容を見直して枚数を少なくする
		両面印刷・両面コピーを徹底する
		裏紙の使用を徹底する
		スキャニングを徹底して書類をデータ化し、社内で共有する
	産業 廃棄物	各種類の産業廃棄物の分別を徹底する
		一般のゴミが混ざらないよう、定期的にチェックする
排水量	節 水	水を出しっぱなしにしない
		蛇口・配水管の水漏れがないか確認する
		節水の表示をする
環境配慮工事の推進		周辺環境に対して、施工上の配慮事項を提案する
グリーン購入		排ガス対策・低騒音・低振動型の重機を使用する
グリーン購入		消耗品・事務用品はエコ商品を優先して購入する
社員教育		朝礼・掲示板・メールを利用して社員に周知し、理解を深める
		環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める
地域貢献		地元の学生のインターンシップを受け入れる
		地域や各協会の清掃活動等に積極的に参加する

6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。今回は、平成28年度全体（平成28年1月～12月）の実績と評価結果について、表4のとおり報告致します。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

○：達成 ×：未達成 CO₂：二酸化炭素排出量
総売上高比：売上百万円当たりの二酸化炭素排出量

本社

項目	単位	基準値	平成28年度			達成状況	
			目標	目標値	実績値		
電力(CO ₂)	kg-CO ₂	21,548	2.5%削減	21,009	19,463	○	
総売上高比	kg/百万円	18.53		18.06	5.98		
LPG(CO ₂)	kg-CO ₂	9,412		9,177	9,512	○	
総売上高比	kg/百万円	8.09		7.89	2.92		
ガソリン(CO ₂)	kg-CO ₂	40,015		39,014	31,387	○	
総売上高比	kg/百万円	34.41		33.55	9.64		
灯油(CO ₂)	kg-CO ₂	1,321		1,288	852	○	
総売上高比	kg/百万円	1.14		1.11	0.26		
CO ₂ 合計	kg-CO ₂	72,295		70,488	61,215	○	
総売上高比	kg/百万円	62.16		60.61	18.79		
一般廃棄物排出量	kg	2,370		2,311	1,150	○	
総売上高比	kg/百万円	1.09		1.06	0.35		
グリーン購入	購入率(%)	購入率20%		購入率30%以上		購入率56%	○

現場

項目	単位	基準値	平成28年度			達成状況	
			目標	目標値	実績値		
ガソリン(CO ₂)	kg-CO ₂	75,222	2.5%削減	73,341	75,213	○	
総売上高比	kg/百万円	34.62		33.75	23.09		
軽油(CO ₂)	kg-CO ₂	457,897		446,450	233,556	○	
総売上高比	kg/百万円	262.25		255.70	71.71		
灯油(CO ₂)	kg-CO ₂	18,366		17,906	6,070	○	
総売上高比	kg/百万円	10.52		10.26	1.86		
CO ₂ 合計	kg-CO ₂	551,484		537,697	314,838	○	
総売上高比	kg/百万円	253.79		247.44	96.67		
産業廃棄物排出量	t	125.39		122.26	40.98	○	
総売上高比	t/百万円	0.0718		0.0700	0.0126		
環境配慮工事の推進	件	2件		2件		7件	○

環境活動の状況

項目	回数・日時	活動名	参加人数
安全	毎週	安全朝礼	全員
	毎月	安全衛生委員会	6名
	年1回	安全大会	全員
	年1回	緊急事態訓練	各部署
社員教育	H28. 2. 16	いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム	2名
	H28. 8. 23	産廃処理優良事業者育成研修会(基礎)	1名
	H28. 9. 20	産廃処理優良事業者育成研修会(中・上級)	1名
	H28. 10. 10	2016森林・林業・環境機械展示実演会	2名
地域貢献	H28. 4. 14	北上川河川敷清掃活動	3名
	H28. 6. 14	太田幹線排水路アドプト活動	7名
	H28. 7. 5	建設業ふれあい事業(中学校)	1名
	H28. 7. 26	太田幹線排水路アドプト活動	7名
	H28. 7. 27	太田幹線排水路アドプト活動	7名
	H28. 8. 2~4	インターンシップ(高校)	3名
	H28. 9. 1	国体おもてなしロード環境整備事業	2名
	H28. 9. 21	建設業ふれあい事業(小学校)	1名
	H28. 9. 26	いわて国体花巻会場清掃活動	2名
	H28. 9. 30	建設業体験実習(高校)	1名
	H28. 11. 8~10	インターンシップ(高校)	2名

実績についての評価

【本社】

LPGの二酸化炭素排出量のみ目標値を上回る結果となりましたが、これは今年度から暖房の設定温度を25℃にした影響だと思えます。総売上高比で比べた場合は今年度も全項目で目標達成となりました。主な要因として、今年度の4月から勤怠管理の方法が変わり、以前よりも退社時間が早くなりました。このことが、全体の二酸化炭素排出量の削減にも繋がったのではないかと思います。

【現場】

今年度も前年度以上の工事量となり、ガソリンの二酸化炭素排出量は目標値を上回る結果となりましたが、総売上高比で比べた場合は全項目で目標達成となりました。仕事の量は前年度以上であるのに全体の二酸化炭素排出量が削減されているということは、取組みの成果だけでなく現場の生産性が向上しているのではないかと思います。

7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1 取組結果の評価

表5 環境活動計画の主な取組内容と評価

項目		取組内容	評価
二酸化炭素	電 気	昼休み時間は必ず消す	○
		使っていない部屋の照明は必ず消す	○
		退社する時はパソコンの電源を必ず切る(モニターも含めて)	○
		冷暖房の設定温度を守る(冷房：28℃ 暖房：25℃)	○
	ガソリン 軽 油	車両のアイドリングストップを徹底する	○
		急発進・急加速・空ぶかしをしない	○
		冷暖房を控えめに使う	○
		必要の無い荷物は積まない	○
	灯 油 L P G	冷暖房の使用条件を守る(冷房：暑さ指数30℃以上 暖房：気温20℃以下)	○
		クールビズ・ウォームビズを徹底する	○
廃棄物	一般 廃棄物	書類の内容を見直して枚数を少なくする	△
		両面印刷・両面コピーを徹底する	○
		裏紙の使用を徹底する	○
		スキャニングを徹底して書類をデータ化し、社内でも共有する	△
	産業 廃棄物	各種類の産業廃棄物の分別を徹底する	○
		一般のゴミが混ざらないよう、定期的にチェックする	○
適切に処理するよう、 manifests の管理を徹底する	○		
排 水 量	節 水	水を出しっぱなしにしない	○
		蛇口・配水管の水漏れがないか確認する	○
		節水の表示をする	○
環境配慮工事の推進		周辺環境に対して、施工上の配慮事項を提案する	○
		排ガス対策・低騒音・低振動型の重機を使用する	○
グリーン購入		消耗品・事務用品はエコ商品を優先して購入する	○
社 員 教 育		朝礼・掲示板・メールを利用して社員に周知し、理解を深める	○
		環境に関連したセミナーに積極的に参加して意識を高める	○
地 域 貢 献		地元の学生のインターンシップを受け入れる	○
		地域や各協会の清掃活動等に積極的に参加する	○

○：評価できる △：まずまず評価できる

2 次年度の取組内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - ・取組みは引続き継続し、更新が必要な設備は更新する
- (2) 廃棄物の排出削減
 - ・取組みは引続き継続し、特に産業廃棄物を処分した際の書類の管理を徹底させる
- (3) 節水
 - ・引続き取組内容の周知を徹底し、電気量の削減に反映させる
- (4) 環境配慮工事の推進
 - ・引続き継続して実施する
- (5) グリーン購入
 - ・周知を徹底し、グリーン購入についての理解を更に深めて結果に反映させる
- (6) 社員教育
 - ・環境関連のセミナーの受講を推進する
- (7) 地域貢献活動
 - ・清掃活動等に積極的に参加させて意識を高める

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について、遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情・訴訟等についても問題はありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
環境方針	社員全員の意識は向上していると思うし、少しずつ行動にも表れてきている。	特になし。
環境目標	概ね達成できている。	特になし。
環境活動計画及び環境経営システム	会社の現状に合わせた形で変更等をしている点は評価できる。	特になし。
その他	会社内の清掃活動や啓発活動を続けてきたことで、社員の意識がかなり変わってきたことは評価できる。	引続き要望事項がある場合は十分に検討してから提案すること。
全体評価		
今年度も前年度以上の工事量であったが、結果としては全項目で目標を達成することができた。特に、前年度よりも遠隔地の現場が多かったことを考えれば、現場の二酸化炭素排出量が更に削減できていることは評価できる。平成29年度も今年度以上に二酸化炭素排出量を削減できるよう、取組みを徹底して行うこと。		